

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名**

よしの

日付 平成 21年 1月 26日  
特定非営利活動法人

**評価機関名** ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

**1. 評価結果の概要**

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)

平成17年5月に兵庫県の佐用町から美作市の大原町に近い自然豊かな田園地帯に出向いてグループホームを開設した。広い敷地に外観は現在風の平屋建で2ユニットの東館と西館が玄関を中心に左右に広がっている。木の格子戸を開けて玄関の中に入ると、外とは一転して純和風の造りで、式台のある框を上と無垢の松板床張り、大きな下足収納、正面には床の間風の棚があり、壁は聚楽土塗壁と宮本武蔵誕生の地に近いこの地域にふさわしい純和風の豪華なしつらいである。この玄関の間から左右に別れて2つのユニットのリビングルームに入ると、ゆったりとした空間が広がり、食卓テーブルの置いてある食堂ゾーンと厨房、その横に一段昇って畳の間が寛ぎゾーン、壁沿いにソファが置いてある。この地域で生活してきた利用者にとって住み慣れた雰囲気である。

このリビングルームに2つのユニットから利用者全員が毎週土曜日の朝集まり、2年前から理学療法士の指導でリハビリの体操やゲームが約2時間行われる。バイタルチェックに始まり、軽く身体をほぐす体操や脳の活性化から徐々に動きが大きくなる。ビーチボールを使って手や足の運動、そして最後は二組に向き合い、テーブルを台にして激しいボールの突き合いでチームプレーを競い合い、地に落とさないよう、落とさせるようにと対抗心を高め、反射神経を高める運動で、息が上がる程になって今日のリハビリ体操が終わった。さすが専門家の指導で、楽しみながら意欲を高める時間だった。バイタルチェックで体調を整え、後は昼まで個人的なりハビリやそれぞれの人の体調を見て、相談相手になっていた。他に類のないリハビリで利用者の心身機能維持のため1週間に1度の貴重な時間である。

2つのユニットに別れて9人ずつの利用者が生活しているが、このホームの特長はホーム全体として利用者も職員も一緒に生活や活動をしていることだ。上記のリハビリを始め、一つの趣味、例えば人形づくりは両方の利用者が一緒になって精を出している。可愛くてユニークな表情と動作を表現した人形が両方のリビングルームで利用者を和ませてくれる。食事も両ユニットの職員が分担して、外注業者が献立してあるメニューの料理をして同じものを利用者全員が楽しめる。広い庭では季節が良い時は両ユニットの利用者が楽しめる。

3年半経過した今日、飛躍的に発展したことに地域との交流が活発になってきたことである。運営推進会議の効果が一つひとつ実りつつあり、ボランティアや園児や学生が参加してホームの中に明るさ楽しさを繰り広げてくれている。そして職員がホーム全体でケア及びサービス提供に当たっており、全員が利用者全体に馴染める体制がある。そして職員一人ひとりの「気づき」や「提案」を大切にして、ホームの運営に生かそうとしている事によって、ホームの運営やケア・サービスの質の向上に結び付いていることが確信できた。

**特に改善の余地があると思われる点**

認知症になっても、安心・満足の気持ちが持てるような生活ができれば普通の生活ができると考えている。このような環境の中で利用者や職員の信頼関係が生まれる。自分の家に居るより、このホームに居る方が楽しい、安心だ。ここでずっと暮らしたいと利用者によってもらえるホームをつくるのが、グループホームのプロの介護職であると思うので、現在を基点として頑張ってもらいたい。

## 2. 評価結果 (詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：理念を理解し、利用者が安心して生活出来るように、毎月の目標を定めて職員間で共有して具体的な仕事に生かしている。</p> <p>2、全体的に見て…：施設長は、職員同士で楽しい仕事はどう出来るか、それは職員一人ひとりがセルフチェックをして、自分のしているケアやサービスに対する意欲を燃やして貰いたいと考えている。その為の一つに「職場の環境が向上する為、自分なりに考えて提案した事を記入する」「代替ケア立案」の二つのノートがある。職員が気がついたり、考えた事を自由に記入して、それをミニ会議で討論して、職員全体の共有した改善に結び付けようとしている。派手でなくても良い。利用者一人ひとりの笑顔と職員の笑顔が大切だと、毎日の生活のパロメーターとしている。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：建物や設備、敷地全体としては恵まれた環境にあり、申し分なく生活している。ハード面では何も改善する事はないが、利用者や職員が日常生活や活動の中に、このハード面をどう有効に利用していくかが重要である。</p> <p>2、全体的に見て…：両方のユニットの施設を2つのユニットの利用者や職員が交流して使っている事が多い。つまり、ユニット単位の生活よりホーム全体の生活を重要視している。同じ家の中で、仲の良い人間関係を作る事が出来ている。リビングルームには利用者の生活や行動の様子がよく判る写真をまとめて、便り風にして貼り出している。皆で作った作品や、個人で作った作品も貼ってあり、生活臭が漂ってきた事が良い。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：今まで培ってきたケアマネジメントの中で、もう一歩ケアの実践を深めていく為に、利用者のアセスメントを充実し、介護計画や実際の支援の記録に生かし、さらに効果の高いマネジメントのシステムを改良していきたいと考えている。</p> <p>2、全体的に見て…：利用者の持っている能力を生かし、お互い助けあって生活している姿が目につく。ある男性は周囲の成り行きに目配りして、そっと手助けしていた。不自由な手でも自分で最後まで食事をする人が居たが、その人の力と気持ちを尊重して、職員は見守りをしてきた。失禁した人が居れば、同性同士で声を掛け、自室で処理していた。自分の特技の人形を作り、利用者同士で交換し合う楽しみを味わいながら、お互いに楽しみを分かち合い、不足するところを補い合う力強い生活力を見ることが出来た。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：運営推進会議は2月に1度着実に開催されており、その効果は着々と実ってきている。利用者がこのホームで楽しく過ごし、心身共に機能を果たしていくには、地域の人々の実質的な支援が最も期待出来る場所である。小学生がホームで学習発表会をしてくれたり、学校の行事に招待してくれる。幼稚園児も来てくれて、利用者や交流してくれる。ボランティアの人も2～3ヶ月毎に来訪して慰問行事をしてくれる等、地域の人々とのつながりは大きい。</p> <p>2、全体的に見て…：このように地域との交流に盛り上がりを見せ、職員がホームで利用者の支援をしているのに加えて、地域のパワーが利用者の生活するパワーを高めてくれているが、反面、幼児や児童の減少によって、幼稚園や学校の統廃合が現実のものとなった。又、地域の高齢化と独居老人が増える傾向にあり、この地域の高齢化対策も益々深刻になり、施設サービスの拡充の必要性も生まれた。このホームを含めて大変難しい課題となってきた。</p>		